



#### 【IV. 指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	達成	創業支援や企業誘致を推進するとともに、農林水産業や商工業・サービス業等の振興を図ることにより魅力ある仕事を創出し、目標を達成できた。	達成

#### 【V. 施策に対する意見・提言】

<p>○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H29.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度の国の米政策の見直しに対して、非常に不安がある。水田農業に力を入れるほど生産額が上がらず、園芸品目や畜産への取り組みが重要になってきた。</li> <li>・農産物の輸送は九州内と比較して、関西へは2倍、関東へは3倍のコストがかかるために、大分県からの出荷は関西止まりが多い。オリンピックを控え、関東へ県産品を売り込むよい機会でもあるため、輸送の課題を検討して欲しい。</li> <li>・規模拡大した担い手が高齢化している。今後の事業承継等を考える中ではUIJターンの取り組みが必要だが、農業設備は高度化しており、就農学校等で教わる程度ではうまくいかないため、卒業後もフォローアップして欲しい。新規就業者数も大事であるが、経営体を発展させる取り組みもお願いしたい。</li> </ul> <p>○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車産業は裾野が広く、県内でも多くの雇用を創出している状況だが、自動車技術は大きく変化しつつある。今後、安全な無人自動走行車をつくるにはセンサー、AI、ICT等の技術が合わさる必要がある。</li> </ul>	<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が減少する中、県経済発展のためには、地域内での循環型経済の構築が必要ではないか。県内企業のほとんどが中小企業であり、この中小企業が元気にならないと、大分県の経済活力は生まれない。</li> </ul> <p>○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H29.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の活躍を推進するためには、女性支援だけでなく、男性の働き方改革に対しても重点的に取り組んで欲しい。男性が昔ながらの働き方を要求される状況では、女性の子育て負担が減らない。男性の働き方を変えていく企業を表彰するなど、様々な手法を検討して欲しい。</li> </ul>
--	--

#### 【VI. 推進上の課題と今後の展開について】

<p>本県の人口移動を見ると、依然転出超過が続いており、その大部分は15～29歳の若年層で、転出先は、福岡県や東京圏などの都市部に集中している。このような人口流出をくい止めるためには、農林水産業や商工業、サービス業、観光・ツーリズムなど、様々な分野で魅力ある仕事をつくり、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼ぶ好循環を創出していく必要がある。</p> <p>今後の展開については、先駆的な経営体の育成や、新たな経営体の確保、輸出拡大、6次産業化などの構造改革の加速、変化するマーケットに対応できる流通・販売体制の構築など、農林水産業の振興を図るとともに、従来からの産業集積と企業誘致の推進や、中小企業の創業から発展に至る継続支援等に加え、IoTやAI等の新技術を活用した地域課題解決型プロジェクトや、ドローン産業の創出に取り組む大分県版第4次産業革命「OITA4.0」や、クリエイティブ産業等の新しい分野に挑戦し、商工業・サービス業をはじめとした県内中小企業の活力創造と競争力強化を支援していく。</p> <p>観光・ツーリズムにおいては、(公社)ツーリズムおおいたの県域版DMOとしての機能強化を図るとともに、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭や六郷満山開山1300年祭、ラグビーワールドカップ2019など、国内外から誘客が期待できるビッグイベントを好機として今後のリピーター獲得につなげるよう、受入態勢の整備、誘客促進を行っていく。また、県PR動画の活用や、H30年度の世界温泉地サミットの開催等を通じ、「おんせん県おおいた」の魅力を国内外に発信していく。</p> <p>また、創業・起業支援、企業の働き方改革、生産性向上などの推進により、多様な働く場を創出するとともに、ITなど専門的な人材の育成、奨学金返還支援やUIJターン就職促進、都市圏のプロフェッショナル人材活用などを推進し、多様な人材を確保していく。</p>
---